

平成二十九年年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

国語【昼間コース 一般入試…前期日程】

問題一

出題意図

この文章は、戦後以来高度経済成長の状況を基準にして形成されてきた歴史観を見直し、それとは別様の今後の社会をどのように展望するかについて読者に思考させることを一つの目的としている。また、そのような歴史を語る学としての歴史学の存在を意識させ、従来の歴史学を特定の方向付けを持ったものとして相対化し、二十一世紀に、より適した大きな認識の枠組みが存在するはずであるということを感じさせようとしている。やや長い文章ではあるが、高等学校卒業程度の読者を想定しているので、論の流れをよく汲み取って読めば決して難解ではない。設問は、基本的な語彙力を問うと共に、具体的な例から入って徐々に論点を高次のレベルに高めていく筆者の論の進め方に、受験者がうまく歩調を合わせて読解できるかを問うものである。

評価ポイント

- 問一 一般的な評論等で用いられる範囲の難易度の漢字について、正確に読み書きができていないこと。また、類語の基本的な知識があること。
- 問二 問題文における論理展開を把握し、適切な語句を選択することができていること。
- 問三 科学技術に対する一般的な不安の原因説明を問題文中から適切に抽出できていること。
- 問四 問題文中における内容の言い換えを的確に指摘するために、内容が理解できていること。
- 問五 学問における「方法」のあり様を類推し、問題文中から適切な文章を抽出できていること。
- 問六 問題文の内容を全体的に理解し、筆者の主張の肝要な部分を読み取ることができていること。

## 問題二

### 出題意図

古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法や和歌についての知識を一定以上習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容（文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など）を正確に把握できているかどうかをみる。さらに、日本古典文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。

### 評価ポイント

問一 古文でよく見られる古語を正しく読み書くことができていること。

問二 該当箇所の内容・文脈・状況を把握し、理解できていること。簡単な和歌の修辞技法を知っており、適切な語句を正しく書けていること。

問三 『小倉百人一首』にも採られている有名な和歌をある程度知っていること。

問四 本文の内容と古語・古典文法を理解しつつ、正しい現代日本語に訳せていること。

問五 該当箇所の内容・文脈・状況を把握し、理解できていること。正しい現代日本語で説明できていること。

問六 『おくのほそ道』について最低限の基礎知識を持っていること。関係事項を漢字で正しく書けていること。

### 問題三

#### 出題意図

問題文は、民法の役割について初学者向けに解説した文章である。多少専門的な内容も触れているが、日常的な例を多用してわかりやすく述べられており、高等学校卒業程度の基本的国語能力があれば十分理解可能である。設問は、基本的な語彙力、筆者の主張を正確に読解する力、比喩表現を正確に読み取り、受験者自身の言葉で表現できるかを問うもので構成されている。

#### 評価ポイント

**問一** 一般的な評論文等で用いられる範囲の難易度の漢字について、正確に読み書きができていないこと。

**問二** 該当部分の前後の文脈を正確に理解し、適当な接続詞を選択できていること。

**問三** 該当部分の比喩表現を正確に理解し、その指し示す事例を問題文中から抽出できていること。

**問四** 問題文の内容を全体的に理解し、その正誤を正確に判断できていること。

**問五** 問題文全体の論旨を把握し、設問に提示された字数内で文中あるいはその他の語句を用いて的確に説明できていること。

## 問題四

### 出題意図

『新序』は前漢の劉向が編纂した逸話集である。出題文は、為政者が国民を思いやることの大切さを、漁夫に教えられた話である。文章は平易で読みやすいものの、漢字の意味を一字ずつにいねいに理解する必要がある。漢字・漢語の用法に則り、文意を正しく理解できているか、漢字・漢語を誤りなく用いることができているか、また文章全体を読み解き、逸話の主題をきちんと説明できているかを問うた。

### 評価ポイント

- 問一** 本文の内容に即して指示された漢字・漢語を正確に読めること。
- 問二** 本文の内容に即して指示された漢字・漢語を正確に書けること。
- 問三** 文脈にそって指示語の意味するものを理解し、正しい日本語に訳せていること。
- 問四** 登場人物の人間関係を正しく理解できていること。
- 問五** 文脈にそって、正しくわかりやすい日本語に訳せていること。
- 問六** 発言の意味を理解し、漢文の用法に従って読み下せていること。
- 問七** 漢字・漢語の語法を守り、漢語の語順を返り点を用いて正しく示せていること。
- 問八** 文章全体を誤りなく理解し、逸話の主題を指定された字数内で、過不足無く説明できていること。